

事業名	関連部署	事業内容	令和3年度実施内容
基本施策1 地域におけるネットワークの強化			
自殺対策連絡協議会	保健予防課	関係機関及び行政機関が連携し、総合的かつ効果的な自殺対策の推進を図るため自殺対策連絡協議会を開催します。	医療機関や警察・消防、鉄道会社等の関係機関及び行政機関が連携し、総合的かつ効果的な自殺対策の推進を図る。（令和4年2月、書面開催）
自殺対策検討分科会	保健予防課	庁内関係各課が連携し、自殺対策について検討する場として、自殺対策検討分科会を開催します。	庁内関係各課が連携し、自殺対策について検討する。（令和3年12月24日付、書面開催）
自殺対策相談窓口連携会議	保健予防課	各種相談窓口が連携し、自殺対策について効果的、効率的な支援体制を構築します。	令和2年3月に策定した『葛飾区自殺対策計画』に基づき、「地域におけるネットワークの強化」として、「自殺対策相談窓口連携会議」を新規に立ち上げた。庁内の相談窓口の担当部署が、自殺対策について情報共有を行い、連携体制を構築するための検討を行う。 令和3年度は、12月24日に開催。令和2年度の自殺統計について情報共有を行ったとともに、各課の取り組みを報告した。 また、各課の連携体制を構築するにあたり支障となりうる事案について意見交換を行った。
基本施策2 自殺対策を支える人材の育成			
一般区民への研修	保健予防課	区民の方にゲートキーパー研修を受講してもらうことで、身近な人が抱える問題等に気づくことができ、必要に応じて適切な窓口へつなぐ等、気づき役、つなぎ役を担えるようにしていきます。	自殺対策では、様々な悩みや困難を抱えている人に対して、早期に「気づき」、「受け止め」で、適切な関係機関に「つなぐ」ことが重要となる。これらを行う人材を育成するため、ゲートキーパー研修・講座を実施している。 令和3年度は、青少年委員向け研修や区民大学認定講座としてゲートキーパー研修を実施した。また、研修や講座の受講者が、身近な人の抱える悩みに、「気づき」「受け止め」「つなぐ」ときのツールとして、QRコード入りの修了証を交付した。
区職員向けゲートキーパー研修	保健予防課・人材育成課	区職員を対象としたゲートキーパー研修を実施し、区民の心の危機のサインに気づき、寄り添い、受け止めるなど、自殺を防ぐために必要な知識やスキルを身に付けていきます。	【令和3年度ゲートキーパー研修・講座の実績】（開催回数6回、受講者数291人）
教職員向けゲートキーパー研修	指導室・保健予防課	教職員を対象としたゲートキーパー研修を実施し、児童・生徒の心の危機のサインに気づき、寄り添い、受け止めるなど、自殺を防ぐために必要な知識やスキルを身に付けていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・区民向け（青少年委員） 6月24日 於ノウィメンズバル・動画配信） ・就労支援事業者向け 7月28日 於ノウィメンズバル・動画配信） ・区民大学単位認定講座 10月20日 於ノウィメンズバル ・区職員向け（管理職） 11月11日 於ノウィメンズバル ・区職員向け（一般職員） 11月12日 於ノ区役所 ・教職員向け（生活指導主任） 11月30日 於ノ総合教育センター

事業名	関連部署	事業内容	令和3年度実施内容
基本施策3 区民への啓発と周知			
自殺予防週間の啓発活動	広報課・保健予防課	国の自殺予防週間や、都の自殺予防月間に合わせ、講演会やパネル展、横断幕の設置、区のホームページなどで周知を行います。9月と3月の自殺対策強化月間に、広報かつしかやかつつしかFMなどで自殺対策の紹介を行い、区民への周知・啓発を行います。	<p>毎年、自殺対策強化月間に合わせて横断幕を設置するとともに、自殺予防に関するパネル展示を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①横断幕設置 葛飾区役所、健康プラザかつしか、金町保健センター、JR金町駅北口駐輪場の計4か所に横断幕を設置した。(令和3年9月) ②パネル展示 葛飾区役所区民ホールにおいてパネル展示を行った。(令和3年9月) <ul style="list-style-type: none"> ・自殺に関する相談窓口の紹介 ・うつ病・健康に関する知識の普及啓発 ・ゲートキーパー研修 ・リーフレット等の配布 等
区広報媒体を利用した普及啓発	広報課・保健予防課	区ホームページで自殺対策専用のコーナーを設け、区民に情報提供を図ります。区ホームページには、気軽にこころの状態をチェックできる「こころの体温計」を利用できるようにしています。	<p>広報かつしか、ホームページ、フェイスブック、ツイッターなどを積極的に活用し、区民や関係機関に向けて普及啓発を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報かつしか 8月25日号及び2月25日号に自殺対策の特集記事を掲載した。(ゲートキーパー研修や動画配信や相談窓口の紹介、東京都の自殺防止キャンペーン等) ・フェイスブック・ツイッター ゲートキーパー講座・研修の実施報告等(随時) ・ホームページ 自殺対策に関連するページを新規作成し随時更新した。 <ul style="list-style-type: none"> ①葛飾区の自殺対策について(ページ番号1021486) ②こころの健康についての相談(ページ番号1003829) ③自死遺族向けホームページ(ページ番号1026654) ④ゲートキーパー講座：イベントページ(ページ番号1027006) <ul style="list-style-type: none"> ・こころの体温計 延べ利用者数22,646人
相談窓口一覧リーフレットの配布	保健予防課	区民向けの相談窓口一覧を、区民事務所や図書館に設置するとともに、中学生にも相談窓口一覧を作成し、全員に配布し周知を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口リーフレット配布 区内施設、各課窓口等に配布した。(計3,000部) <p>※令和3年度まで、「自殺のない『生き心地の良い社会』を目指して」(支援者向けデザイン)を配布していたが、令和4年度からは、当事者向けのデザインに変更する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンカチ型リーフレット配布 児童・生徒向けの電話相談窓口を周知するため、ハンカチ型リーフレットを区内の新中学1年生に配布した。
その他	保健予防課		<ul style="list-style-type: none"> ・ゲートキーパー手帳配布 ゲートキーパー研修・講座の受講者に補助教材として配布した。 ・区民大学情報誌「まなびぶらす」(10月1日号) ・区民大学単位認定講座「区民向けゲートキーパー研修」を掲載した。 ・教育広報「かつしかのきょういく」(10月29日号) 子ども向け電話相談やSNS相談について掲載した。 ・令和3年度健康づくり健康診査事業案内に記事掲載 健康づくり課の事業案内に、「こころの体温計」の記事を掲載し、対象者(約11,000人)に配布した。

事業名	関連部署	事業内容	令和3年度実施内容
基本施策4 生きることの促進要因への支援			
相談事業（女性の自立支援等）	人権推進課	女性が抱える夫婦や子ども、家庭のことなどの様々な悩みや問題にカウンセラーや弁護士が相談に応じます。また、人権に関する悩みや問題の解決・軽減を図るため相談を行います。	「女性に対する暴力相談（DV相談）」・「(女性のための)法律相談」・「(女性のための)悩みごと相談」のほか、「性自認・性的指向に関する相談（LGBTs相談）」を実施している。
保険料納付相談	国保年金課	収入が減るなどの特別な事情により、保険料の納付が困難となった方からの相談を受け付けます。相談を行う中で必要に応じて関連する相談部署等につなぎます。	保険料の納付相談の際に生活状況を把握し、コロナ禍による収入減少や失業などのために生活困窮の問題を抱えている方に対して、国民健康保険料・後期高齢者医療保険料の減免制度についての説明や分割納付相談を実施した。
救急医療機関と連携した自殺未遂者支援	保健予防課・保健センター	区内救急医療機関と連携し、自殺未遂者に対して生きるための支援を行います。	区は、自殺企図や自殺未遂等により医療機関を受診した区民の再発を防止するために、救急医療機関と連携を行っている。具体的には、当事者の同意が得られた場合、医療機関から情報提供を受け、各保健センターにおいて退院後の相談支援を行っている。 令和3年度は、従来の区内2医療機関に加えて、3次救急である区外2医療機関と連携を開始した。 ・東京慈恵医科大学葛飾医療センター ・平成立石病院 ・墨東病院（新） ・東京女子医科大学東医療センター（新）
自死遺族等の相談支援（新規）	保健予防課・保健センター	自死遺族等の各種相談先や支援に関する情報を区ホームページに掲載するとともに、適切な窓口につなぐなどの支援を行います。また、保健センターにおいて、保健師が自死遺族の悩みや不安について相談を受け、支援につなぎます。	自死遺族の方が悩みや不安を相談できるよう、相談先や支援に関する情報を掲載した区ホームページを作成した。また、亡くなった後の区役所での手続きをワンストップで受付する戸籍住民課の「おくやみコーナー」で自死遺族向けパンフレットの配布を開始した。
基本施策5 あらゆるライフステージにおけるSOSの出し方に関する支援			
妊娠中、子育て期の方のSOSの出し方に関する支援	保健センター・育成課・子ども家庭支援課	妊娠期から出産後、子育て中の方で支援が必要な方に、保健師や助産師による家庭訪問等で支援を行います。また、母親学級、育児学級などの各種講座において、困った時の相談に関する情報提供をします。	子ども未来プラザ・各基幹型児童館で産前・産後サポート講座の実施や日常的な相談事業を実施した。また、妊娠中から子育て中の方に、ゆりかご面接や保健師または助産師が家庭訪問に行った際や、健診等事業の機会を利用して、地区担当保健師の紹介や事業の紹介など困った時の相談先を情報提供した。
児童・生徒のSOSの出し方に関する教育	指導室	児童・生徒が悩みを抱えたときに助けを求めることができるようになるとともに、身近にいる大人や友人も小さな変化に気付き、受け止めるようにすることができるようにするため、各学校において「SOSの出し方に関する教育」に取り組みます。	教育課程に生命尊重教育、DVD教材等を活用した「SOSの出し方に関する教育」を位置付けるように区内小中学校に指導しており、各学校の方針によって学活や道徳の時間などに実施した。また、GWや夏休みなどの節目ごとに、相談窓口の案内チラシを配布し、自殺予防に努めた。

事業名	関連部署	実施内容	令和3年度実施内容
重点施策2 生活困窮者への支援			
生活困窮者自立支援事業	福祉管理課	複雑かつ多様化している課題を抱える生課題を抱える生活困窮者に対し、生活困窮者自立相談支援事業や住居確保給付金の支給などの制度を活用し、自立の促進を図り、本人が安心して暮らせるよう支援します。	生活困窮者に対し、生活困窮者自立支援制度の活用や住居確保給付金の支給などの支援を行った。また、生活困窮者の多くは、健康、障害、介護、多重債務等、多様で広範な課題を抱えており、問題を解決するには関係部署が連携し、包括的に支援していく必要があるため、関係部署を招集し、当事者の支援について検討する「支援会議」を、令和4年1月に新設した。
消費者対策推進事業	産業経済課	区民が自立した消費者として行動できるよう、消費者団体の活動支援、消費者情報の提供、消費生活相談、消費者講座等の活動を実施し、消費者への教育・啓発を行います。	通常の消費生活相談をはじめ、多重債務や高齢者、若者など幅広い年齢層の多様な相談に応じ、適切な助言を行ったほか、弁護士特別相談等、問題解決による支援を行った。 また、令和2年度は保健予防課から講師を招き自殺対策に関する講座を消費者団体向けに開催した。
重点施策3 働く世代への支援			
雇用・就労促進事業	産業経済課	就職支援セミナーや合同就職面接会を開催し、地域雇用・就労を支援します。雇用関係助成金の相談窓口・新規雇用への助成金の創設により新規雇用の創出及び雇用の安定化を図ります。	自力就職が困難な若年者、女性、シニア層や就職氷河期世代の求職者が増加傾向にあることから、定期的な専用HPのリニューアルやWeb予約の導入等により利便性を高め、新規利用者の獲得に取り組んだ。また、セミナーやグループワークを実施することで、求職者の質の向上を図り、求職者の就職・再就職を支援した。